

まちづくり委員会

- 担当理事長名：潮見 雅利
- 委員長名：西崎 肇
- 副委員長名：三橋 肇
- 委員名：岩本 和憲、波多江 悠、宮沢 輝、御代川 太、脇本 遼
- 作成者名：西崎 肇

1. 委員会活動方針

鎌倉のまちは、近年新たにまちに移り住む住民と既存の住民との交流の場の減少による地域コミュニティの希薄化が要因となって、まちの活性化は望みづらいと考えます。地域コミュニティを活性化させていく為に、まちの良い側面を伸ばしつつ、市民一人ひとりが各世代の交流を深め、まちに興味を持ち、まちを知る機会の提供が必要です。そのために、まちへの関心を高められ、世代間交流を深められる事業を創出していくことが求められていると考えます。

本年度まちづくり委員会では、はじめに、次代を担う若者から高齢者の方までがまちの問題に関心を持ち、政策本位の政治選択が出来るよう我々が市民とともに考える場として、統一地方選挙の県議会議員選挙を好機と捉え、公開討論会を開催します。次に、まちの様々な世代の方との時代に即した交流の場を創出する為に第51回慈善茶会を開催します。鎌倉青年会議所が半世紀に亘り開催してきた慈善茶会ではご来場頂く市民の方々との一期一会の想いを大切に、誠意を尽くして更なる交流を深め、まちを知る機会とします。その後、第51回慈善茶会にご協力頂きました関係諸団体の皆様との交流の場を設け、信頼関係をより深める事業を行います。最後に、活力にあふれる地域コミュニティを生み出す機会を創出する為に、このまちの文化や歴史などの魅力と価値に一層磨きをかけ、世代を越えてこのまちに住む人や訪れる人が誰でも参加できる交流の場を、市民や市内企業などと連携して取り組む新たな文化事業を開催します。

当委員会では、これらの事業を本年度テーマである「覧古考新」の精神で推し進め、世代間交流の場を増加させることで、市民が過去から学び、自ら考え、このまちの新たな姿を思い描くきっかけとなり、まちの問題に対して興味を深めてまちへの関心や理解を高めることになると考えます。そしてそれは、当会議所の会員はもちろんのこと、市民一人ひとりが主体的にまちに関わっていく事に繋がり、ひいては「明るい豊かな社会の実現」の一助になると確信します。

2. 委員会事業計画

(I) まちの問題に関心を持つ事業

- (a) 内 容：統一地方選挙の県議会議員選挙の公開討論会
- (b) 時 期：2019年 3月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 第51回慈善茶会の開催

- (a) 内 容：第51回慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2019年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、OB、来訪JC、市民、
学生、協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) 関係諸団体と信頼関係をより深める交流事業

- (a) 内 容：第51回慈善茶会後の懇親会の開催
- (b) 時 期：2019年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、OB、学生、
協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) 活力にあふれる地域コミュニティを創出する文化事業の開催

- (a) 内 容：世代間交流文化事業
- (b) 時 期：2019年11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加